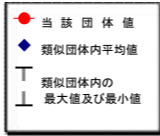


(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

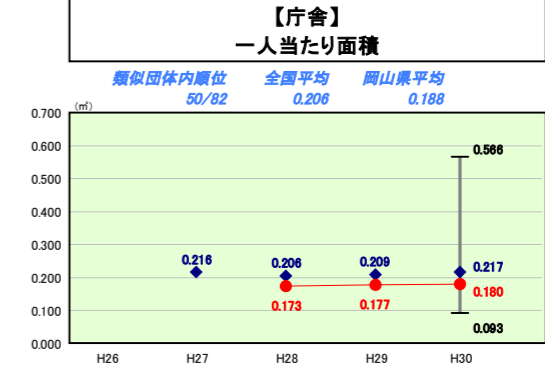
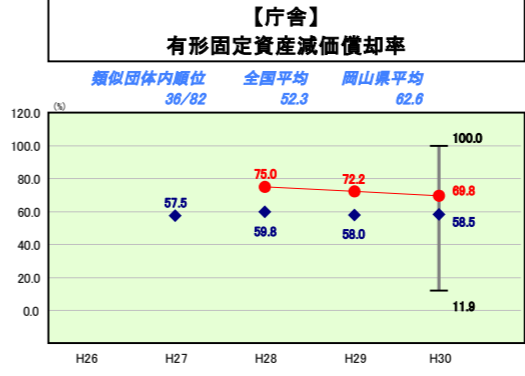
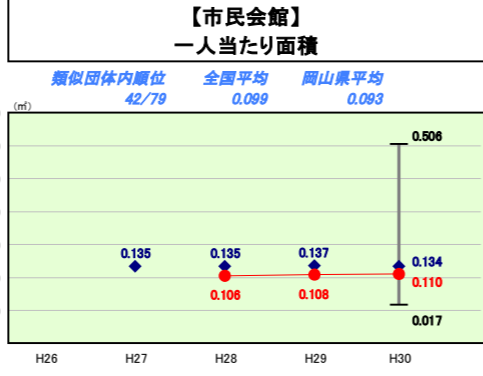
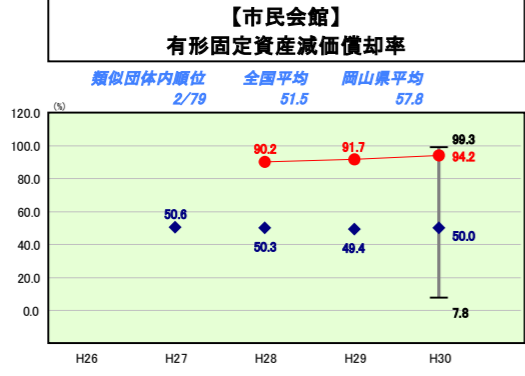
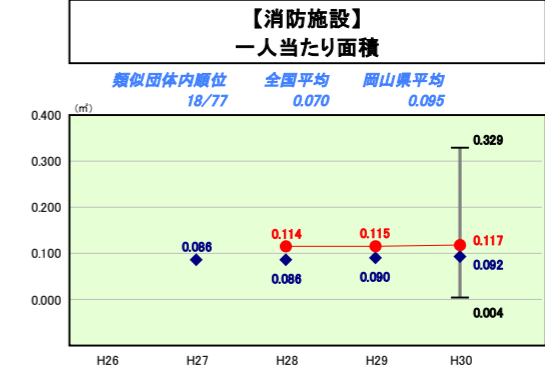
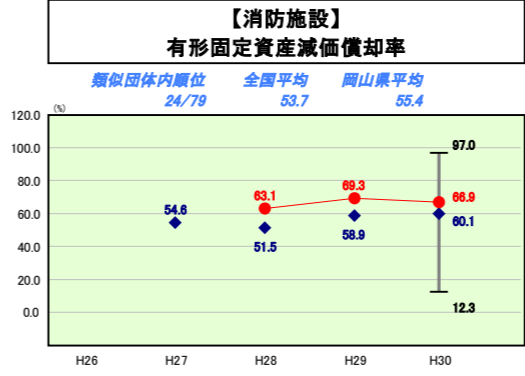
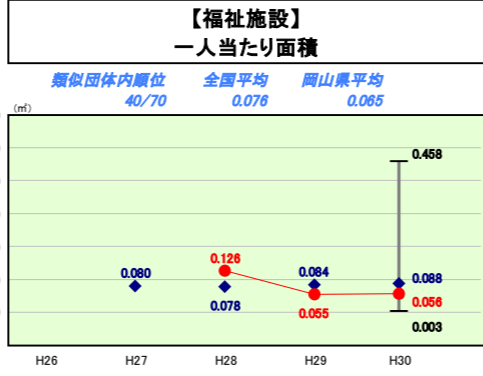
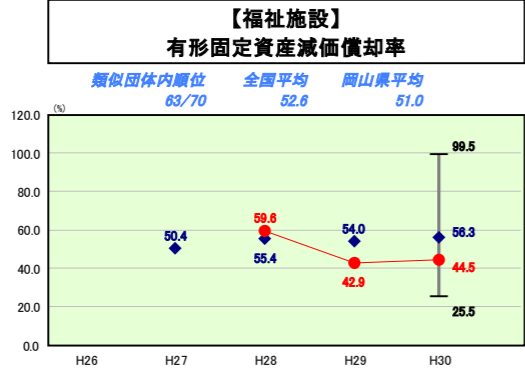
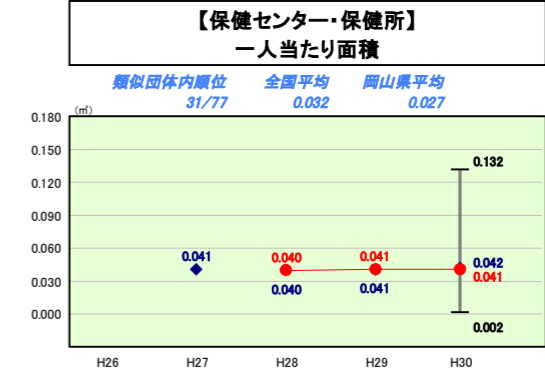
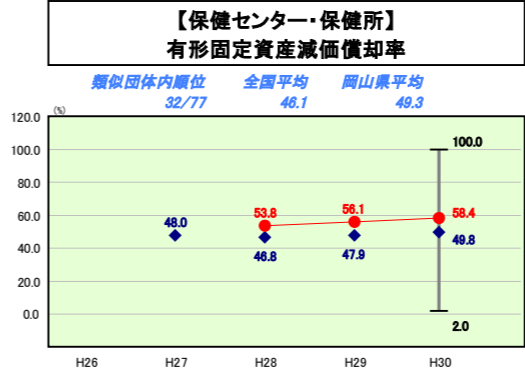
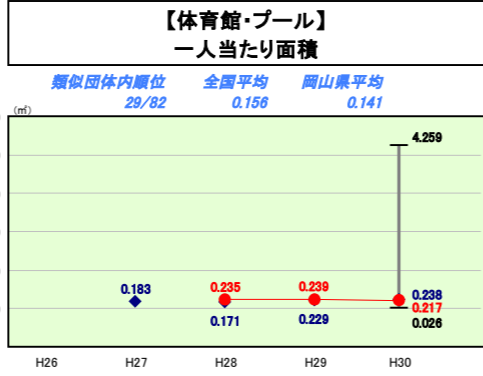
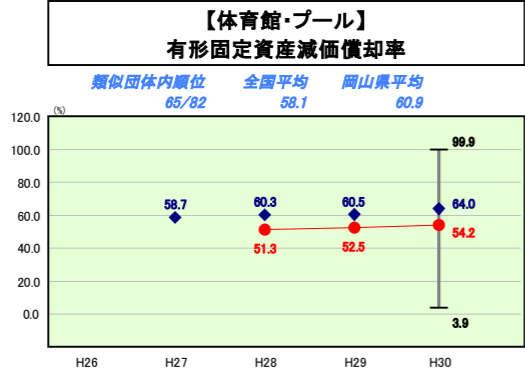
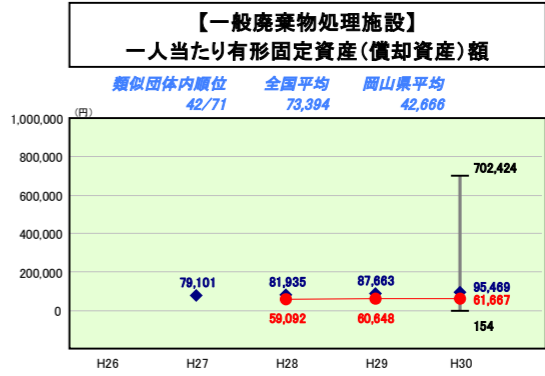
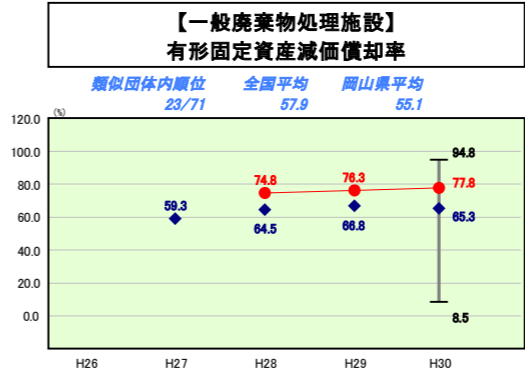
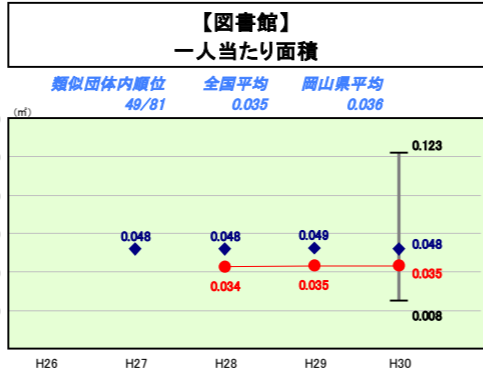
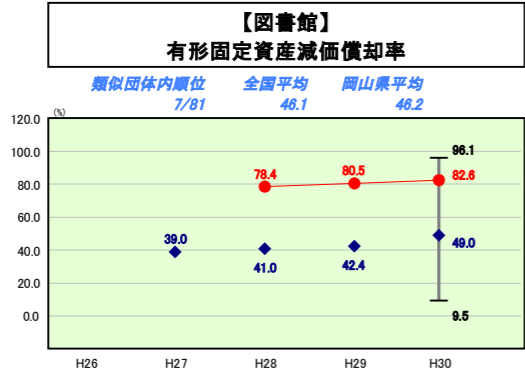
平成30年度

岡山県笠岡市

人口	48,712人	(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	48,244人	(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	136.24	km ²	実質公債費比率	6.7	%
歳入総額	26,468,309	千円	将来負担比率	76.5	%
歳出総額	25,713,959	千円	市町村類型	H26 II-1 H27 II-2 H28 II-2	
実質収支	632,789	千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2	
標準財政規模	13,078,888	千円			
地方債現在高	25,143,653	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率は、ほぼ全ての施設において、平均より高い数値となっている。これらの有形固定資産については、本来、計画的に整備(除却・集約・複合化など)の必要があるが、本市の財政事情により、維持補修での対応が中心であり、これが有形固定資産減価償却率を引き上げる要因となっている。どの施設についても、耐用年数を経過または近いうちに経過するため、公共施設等総合管理計画に基づき、適切な整備を行っていく必要がある。